

平成30年度 事業報告（法人全体）

1 社会福祉法人黒松内つくし園の理念

◆基本理念◆

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう、低所得者に対する減免等を行い、利用者の自立を支援し、障害者の就労支援をすることを目的として、社会福祉事業を行う。

社会福祉法人黒松内つくし園 倫理綱領
(平成25年4月1日宣言)

前 文

^{わたし} 私たち役員一同は、創立の理念を実現し、民間社会福祉事業の発展に努めます。

第1条 利用者主体

私たちは、自由と平等の精神に則り、利用者主体のサービスを提供します。

第2条 自立支援

私たちは、利用者の自立支援を目的とし、常に利用者の幸せのために努力します。

第3条 専門性

私たちは、利用者の^{いのち}生命と^{くらし}生活を守るため、専門的な知識・技術の習得に努めます。

第4条 社会貢献

私たちは、地域住民の一員として、新しいニーズに対応し社会に貢献します。

2 平成30年度 事業方針（法人として）

●制度改正により今社会福祉法人が求められている内容は多岐にわたっている。社会福祉法人公益性・非営利性・継続性・倫理性・開拓性などが求められている。制度改正により特にガバナンスや会計の透明性、地域貢献が求められている。

●法人の方針

- * 法人理念・倫理綱領に沿った事業展開を行う。
- * 利用者・職員・社会の幸せを実現するための方策を実施する。
- * 労働衛生管理と適正な会計処理を行う。
- * 緑ヶ丘ハイツ移転改築に法人全体で取り組む。
- * 制度改正による各種規程等の浸透を図る。
- * 法人本部によるガバナンスの確立を図る。

3 重点目標（法人として）

- (1) 緑ヶ丘老人ホーム、慶和園、後志リハビリセンター等の各事業所で、利用者や家族からの施設サービスのアンケートを実施、各事業所で自己評価を実施しました。また、南後志児童ディサービスセンター評価表をホームページで公表を行いました。障害サービス事業の自己評価を後志総合振興局へ提出しました。
- (2) 各委員会の取り組みの中で、新たな事業としての実施はありませんが、各施設で行事や新企画を提供しています。
ブックスタート、土曜保育（認定こども園黒松内保育園）施設職場体験施設利用体験（倶知安就労事業）
- (3) 労働衛生管理の強化のため、全事業所で職員のストレスチェックを実施。労基署からの指導があり、各事業所の心の健康づくり計画をH30年9月末日までに整備しました。また、職場復帰プログラム作成の指導により、法人での制定と関連規程の整備を行いました。各施設で安全推進者・衛生推進者を設置し事業所内に掲示しました。
- (4) 統括統治（ガバナンス）の確立のため、法人本部機能強化として4月1日より本部兼務職員を発令しましたが、施設長の退職、内部での諸規程の整備の遅れ、施設の業務との調整等が進まず、未だ不完全な状況で推移。来年度も法人本部への人員配置が厳しい状況ですが、職員採用面接の法人本部立会・手続き実施、施設整備・設備整備等を法人本部主導のもと行いました。その他一部の事務処理を法人本部職員が行う等改善を進めてまいりました。
- (5) 社会福祉制度改正に対応した規程制定・改廃を進め、まだ未整備のものもありますが、大部分の規程を電子開示（サイボウズへの展開と共有）を含めて管理体制を整備しています。
- (6) 昨年度から利用しているマイナビを活用した求人募集とセミナーを開催し、採用に繋がるよう人材センター中心に活動しました。本部人事部門や各施設と連携して、採用活動への若手・中堅現場

職員、女性職員の参加と、ブースの装飾等により学生へのイメージアップを図りました。

- *留寿都高校と連携して、就学資金貸付制度を創設し、学生へ経済的支援を行い、介護福祉士資格取得と福祉施設就労者増へ図ります。(2019年度からの開始を決定し進めています。)

2019年4月1日採用者

施設名	職 種	正・臨・P	人数
黒松内つくし園	生活支援員	正1	1名
緑ヶ丘老人ホーム	支援員	正1、P1	2名
緑ヶ丘ハイツ	介護員	P1	1名
しりべし学園	保育士	正3	3名
しりべし学園成人寮	生活支援員 事務員 看護師	正2、臨2	4名
後志リハビリセンター	生活支援員	P1	1名
湯の里・黒松内	介護員	正3	3名
慶和園	看護師	臨1	1名
ユニットケア慶和園	介護員、用務員	正1、臨1、P1	3名
羊蹄セルフ	職業指導員	正1	1名
つくしホーム	世話人	臨2	2名
泊村特養むつみ荘	介護員	P1	1名
計		正12、臨6、P5	23名

- (7) 緑ヶ丘ハイツ移転改築工事を建設委員会開催・進行の他、法人本部が主体となり、緑ヶ丘ハイツと情報共有しながら取り組みました。
- * 工事契約を締結し、8月に安全祈願祭を施行、9月に工事着工。基礎工事を中心に今年度は12月中旬まで工事を行い、冬期間は休止しました。2019年春に工事再開し同年10月完成予定です。
 - * 福祉医療機構から49,970万円の借入と黒松内町から2億円の借入償還助成を受けることができました。
 - * 3月末に工事の出来高払い16,700万円を支払いました。

4 事業実施 (法人全体として)

(1) サービスの質の向上

- * 倫理綱領を念頭に全施設でサービスの提供体制点検を行い職員間で共有し定期的な見直し点検を行いました。一部施設での個別計画に不備が見られ法人本部を中心に実態把握と改善対策を検討しました。
- * 研修委員会を中心に職員研修を計画的に行い、職員意識や知識・技術の向上を図りました。(研修報告参照)
- * 苦情解決委員会で苦情事例の共有化を行い、苦情件数削減に取り組みました。苦情受付状況報告については、別添資料参照
- * リスクマネジメント委員会を開催し、事故・災害等の取り組みの見直しを行うとともに新たなリスクへの対応を検討致しました。
- * 胆振東部地震と大規模停電の際に、法人全体での災害対策と情報共有等を行いました。その中での課題等を再度リスクマネジメント委員会で検討し、防災マニュアルの見直し、災害時事業継続計画の見直し等を行いました。事故件数の削減目標達成については、別添資料参照
- * 内部監査の実施については、委員会組織を構築し規程を整備しましたが、

十分機能するところまではできなかつたので、次年度の課題として取り組んでいきます。

- * 現場力向上研修を開催して、他施設での体験を通じてケアサービス向上に取り組みました。
- * 特養老人ホームでサービス管理上の不備があり、施設サービス提供体制、管理運営体制の点検等を行いました。

(2) 地域貢献

- * 低所得者に対する減免措置の拡大のため、自治体と連携を図り特養や介護保険施設で実施しました。障がい者施設での減免措置実施は、経営上等の問題があり未実施でした。
- * 「障がい児の保育所受入れ、一時保護委託の受入れ、土曜学童保育、生きがいディサービス事業、配食サービス、老人世帯の除雪支援、奨学資金支給制度等」を実施しています。(詳細は別添資料)
- * 実費無料による就労体験・福祉実習受入れ・利用体験を継続実施します。
- * 地域での各種行事に積極的に参加して、住民とのふれあう機会を増やしてきました(黒松内町ビーフ天国や大鳥神社祭、泊夏祭り、京極ふれあいの夕べ、倶知安つくしんぼ祭り等)。
- * ボランティア受け入れとして、緑ヶ丘ハイツや倶知安地区グループホームで、食レク等の御手伝いを募集し協力を受けています。
その他の地域貢献事業については、詳細は別添資料参照。

(3) 情報発信

- * 広報委員会で記事を吟味しわかりやすい情報発信を心掛け、法人会報を年5回発行しました。法人の取組状況や各種行事、工事見積結果、会務状況などの情報開示に努めました。
- * 各施設の会報も情報公開と施設の理解を深めるための情報発信を心掛け、各施設の広報委員を中心にさらなる内容充実に努めました。
- * ホームページ掲載内容を見直し、携帯端末からも検索して閲覧しやすいように改良。また、各種掲載事項(決算、名簿、採用情報、施設概要等)を速やかに更新し、ブログもタイムリーにアップして情報発信を行いました。フェイスブックでの情報発信は不完全で、次年度以降に対応を強化します。

(4) 人材確保

- * 人材派遣会社の利用や法人紹介を専門誌に掲載し、従来の学校訪問、職場ガイダンス等への参加を継続しました。
- * 福祉職場ガイダンスやマイナビセミナーで採用に繋がるよう、若手・中堅現場職員や女性職員を派遣し、法人のPRのためタペストリーや看板等でブースの装飾等を行い、学生へのイメージアップを図りました。
- * ハローワークへの申込、法人主催の職場ガイダンスの実施を実施しました。
- * H30年度、ベトナム人介護士2名を採用しました。また、外国人技能実習生の受入れ申請手続きを行い2019年度6名の受入れが決定致しました。
- * H31年度採用職員は、26名(新卒12名、パート5名、外国人技能実習生6名、既卒者3名。)重点目標6に記載の通り

(5) 統括統治の確立

- * コンサルと協力して諸規程の制定・改廃を推進、施設長・副施設長会議にて浸透を図りました。また、電子掲示板（サイボウズ）への登録を進め、新旧規程の最新版が一目でわかるように展開していくため整備しています。
- * 法人本部で諸問題を検討・協議し、各施設への連絡・通知・通達文書の発信を行い内部統制を図っています。
- * 稟議書の提出と固定資産の購入、各種会議の出席と議事録作成、内部監査委員会の設置とその学習会開催、様式の統一（受信発信簿、有給休暇処理、時間外勤務、寄付金等受領受付簿等）を段階的に進めました。

（６）労働衛生管理

- * 夏期・冬期休暇、有給休暇取得率向上のために各事業所から取得状況を確認しています。（詳細は別添資料参照）
- * 適切な労務管理
 - ・ タイムカード等の出退勤点検を毎月行い適切な労務管理を行いました。
 - ・ 時間外労働・休日労働時間を適宜点検し、時間外勤務などが多くならないように配慮しました。
 - ・ ストレスチェックを実施し、高ストレス者を把握し産業医と連携しながら委員会で検討しました。
- * 全施設で心の健康づくり計画の作成・整備が完了しました。また、各施設で安全・衛生推進者を選出し、職員の労働衛生管理に努めました。
- * 労基署からの指導により、職場復帰プログラムの策定を進め、関連規程を整備しました。
- * 昨年度から継続している労災認定にかかる家族からの要請に弁護士を通じて対応しております。

（７）緑ヶ丘ハイツの移転改築

- * 前述の通り、工事契約し2ヶ年計画で進行中（2019年10月完成予定）。
- * 福祉医療機構から49,970万円の借入と黒松内町から2億円の借入償還助成を受けることができました。3月末に工事の出来高払い16,700万円を支払いました。（重点目標（7）参照）
- * 既存建物有効活用は、協議検討を重ねてきましたが、結論には至らず、次年度に再度検討・判断していきます。

（８）緑ヶ丘老人ホームの定員変更

- * 事業のスリム化を図るべく、現在108名の同施設定員を2019年度中に段階的に利用者減を図り、関係機関と協議して2020年度中に80名定員とすることとしました。

5 職員配置計画

- * 別紙、機構図・事業の概要 添付
- * 役員名簿、組織規程別表、苦情委員会組織図 添付

6 年間予定表

- * 年間事業報告、年間行事予定表 添付
- * 理事会・評議員会開催状況、監査実施状況、会務の状況 添付